

# 国家資格キャリアコンサルタント 面接ロールプレイ試験パワーアップ講義

## 発達理論に基づいた「見立て」構築





相談者：山田太郎 39歳 独身 家族：母（65歳）と同居

今回、会社の事業拡大ということで、北海道への転勤を打診されていますが、母は身体が弱く、父も早くに亡くしているので、母を一人にして転勤すると万一の際に不安です。

かといって会社が自分に転勤を打診してきたのは、上司からも「お前、これはチャンスだぞ」と言われ、将来の幹部として期待されていると感じるので、昇進のチャンスだと思います。

自分として、この先どうしたらよいのか迷って相談に来ました。

なぜ、事前に

相談者：山田太郎 39歳 独身 家族：母（65歳）と同居

このような

1. クライエントの年齢
2. クライエントの家族構成（配偶者の有無）

が与えられるのでしょうか？



これはあくまで私個人の推測ですが

**「発達課題」から「相談者の抱える問題」を  
「見立てるのに役立ててね」という暗黙の提示**

と考えられます。



## ハヴィガースト 壮年期の発達課題

- ・ 配偶者を選択する、結婚相手との生活を学習すること
- ・ 第一子を家族に加えること、子供の養育
- ・ 家庭の管理
- ・ 仕事に就くこと
- ・ 市民としての責任を負うこと、適した社会集団を選択すること

## エリクソン 成人期の発達課題

心理的課題：親密性VS孤立→「愛」 or 「孤独」



## ハヴィガースト

“発達課題は、個人の生涯の様々な時期に生ずるもので、その課題を成就すれば個人は幸福になり、その後の課題も成功するが、失敗すれば個人は不幸になり、社会で認められず、その後の課題の達成も困難になってくる。

一般的な考え方はもちろん多様性がありますが、ここで重要なのは  
「発達課題」という一つの「理論」から、山田さんの現状を見ること。  
そうすると、ここで「アプローチの手がかり」が生まれます。  
それは…



山田さんは、

「親密性VS孤立」

この発達課題をどう捉えているのか？

協議会が「山田さんは独身だよ」とわざわざ伝えてくる理由は？





山田さんは、「相談したいこと」では「独身であること」について触れていないが、その根底には

1. 配偶者を選択する、結婚相手との生活を学習する機会があるのか？
2. 「親密性VS孤独」という葛藤を抱えていないか？

この2つの問題がないかを考えます。



だから、ここでの「発達課題の問題」を見立てた「問いかけ」の例は、

「どなたかに、今回のお悩みについて、ご相談されましたか？」

が1つ挙げられます。



「どなたかに、今回のお悩みについて、ご相談されましたか？」



あ、実は付き合っ3か月になる彼女がいるのですが、  
その彼女に相談したら、

「いい話じゃない」って軽く言われて…

結婚も考えていただけに…

もちろん、こういった「プライベートな話」を打ち明けてくれるには、ラポールがしっかりと構築できていることが前提となります。

今回の山田さんの相談は、実は「付き合って3か月の彼女と結婚を考えていたにもかかわらず、自らの北海道転勤について、彼女の関心が低く、自分との将来を考えてくれているのか不安になった」と見立てることが出来ます。

それは、「親密性VS孤立」つまり、この彼女との結婚という「ライフプラン」が破綻すると、「愛」が獲得できず、「孤独」になるという、ハヴィガーストらの言う、発達課題が達成できず、「不幸」が待ち受けているとの「恐れ（不安、思い込み）」があるからです。



いかがだったでしょうか。

キャリア魂塾の国家資格キャリアコンサルタント試験対策講座では  
実際の面談でも、「傾聴」をベースに、様々な理論の使い方を解説しています。

ぜひ、あなたも「理論に基づいた見立て」を立ててみて下さいね。



<https://career19.link>

